
シンポジウム 7

性機能障害の診断と治療

司 会 永 井 敦 (川崎医大)
 藤 本 直 浩 (産業医大)
 演 者 清 水 真次郎 (川崎医大)
 福 元 和 彦 (福元クリニック)
 前 田 晃 宏 (佐 賀 大)
 井 上 省 吾 (広 島 大)
 白 石 晃 司 (山 口 大)

司会のことば

性機能障害は決して稀な疾患ではなく患者数は増加している。性機能障害は勃起障害 (ED) による男性における生活の質 (QOL) の低下のみならず、女性の QOL、夫婦、またはパートナー間の人間関係、さらに最近大きな社会問題となっている少子化にも影響する重要な問題である。性機能障害の原因は多岐にわたり、複雑な病態を持つ疾患である。本シンポジウムでは、これまであまり触れられたことがなかったテーマで、かつ実臨床に非常に役立つ内容につき 5 人の専門の先生よりご講演いただいた。

まず、川崎医科大学の清水真次郎先生から、「労災認定、訴訟における ED の診断」と題して、実際の症例を基に、労災認定の流れ、必要な検査、意見書・鑑定書作成、訴訟事例についてお話しいただいた。これまでに、このような労災認定を経験している泌尿器科医は少ないと思われる、大変参考になるものであった。

次に福元クリニック、福元メンズクリニックの福元和彦先生からは、第一線で診療されておられる経験をもとに、性機能障害に対して、安心して適切な治療を気軽に受けていただけるためのオフィスユーロロジーの役割と

問題点、膣内射精障害診療の実際、およびその啓蒙活動についてお話しいただいた。

佐賀大学の前田晃宏先生からは、女性の性機能、特にこれまであまり注目されることがなかった骨盤臓器脱手術前後の性機能につき、自施設のデータを基に考察していただいた。その結果、高齢者でも先入観にとらわれることなく、性機能評価に基づき、個々の症例に応じた骨盤臓器脱治療を選択することが重要であることを示された。

広島大学の井上省吾先生からは、低強度対外衝撃波による ED 治療につき、その原理、自施設における治療の現状、前立腺全摘除術後の陰茎リハビリテーションにおける応用についてお話しいただいた。

山口大学の白石晃司先生からは、男性不妊症における性機能障害についてお話しいただいた。一般の性機能障害とは異なる点を中心に、実際の興味ある症例を基に、男性不妊症の原因や病態は多岐にわたること、そのためそれぞれに応じた的確な診断と治療が重要であることを詳しくお話しいただいた。

このように本シンポジウムの内容は、性機能障害について、非常に多彩な内容で実臨床に即したものとなっており、日常診療に大変役に立つ内容であった。